

# 令和6年度 神戸市立長田南小学校 学校評価報告書

校園長名 山田知之

記入者名 土井邦夫

| 神戸の教育が目指す人間像    | 教育ビジョン             | 神戸が目指す これからの学校の姿    |
|-----------------|--------------------|---------------------|
| 心豊かに たくましく生きる人間 | 自他を大切に 自ら考え 未来をつくる | 人がつながり ともに創る みんなの学校 |

|                                                                                                           |                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 学校の目標<br>・子どもも保護者、地域も教職員もウェルビーイングな学校に<br>・地域の教育力を学校に（ゲストティーチャー、地域で子供を見守る会など）<br>・カリキュラム作り、指導体制、時間割 などへの挑戦 | ・自分大好き、友達大好き、長田の町が大好きな子供たちを育む<br>・自立した子供たち（自主的に学習する子）を育むための挑戦 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|

| 内容        | 重点的な取組み                          | 評点<br>（４段階） | 特記事項<br>（学校自己評価）                                                            | 関係者評価<br>（学校自己評価に対する学校運営協議会の意見等）                                                    | 学校自己評価、関係者評価を踏まえた<br>次年度の重点的な取組みの案                                                |
|-----------|----------------------------------|-------------|-----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 育てたい子どもの姿 | ＜教育目標＞共に生きる                      |             |                                                                             |                                                                                     |                                                                                   |
|           | 共に学ぶ子                            | 3           | 嫌だったことを先生に解決してもらうことが当たり前になっている。自分たちで解決していく力をつけていきたい。                        | 児童館も小学校と同じように、今までのやり方でいいのか考える機会が増えた。一人一人が存在感と充実感を味わえる集団づくりが個性を伸ばしていくことにつながるのではないかな。 | ありがとうと言ってもらえる環境作りや仕組みを考えていく必要がある。また、子供の困り感を聞くこと、寄り添うことを大切にしていこうと、安心できる集団作りを進めていく。 |
|           | すこやかにのびる子                        | 2           | 挨拶については、集会委員会の取組による効果が見られた。校舎内ですれ違うときのあいさつも増やしていきたい。                        | お互いを認める「あいさつ」がしっかりとできる子供たちを育ててほしい。                                                  | 教職員も丁寧にあいさつをし、実際に気持ちが良いと感じる経験を積んでいくことで、子供たちに返していきたい。                              |
|           | たくましく生きる子                        | 3           | 自尊心が高めの児童が多い。子供たちは先生や周りから褒められる機会があり、みんなで見ている雰囲気が出てくる。聞ける子供を増やしていきたい。        | 子供たちは、先生たちに褒められると、うれしそうに家庭でも話してくれ、コミュニケーションの機会も増える。今後も、褒める場面を増やしてほしい。               | 子供たちに関する情報共有を今後も継続する。教職員の話も長すぎず、分かりやすく、大事な言葉を使っていくことで、子供たち同士の聞く力を伸ばしていきたい。        |
| 必須テーマ     | ①いじめ防止対策に関する取組み                  | 4           | 学期ごとに、学校生活アンケート及び南っ子相談会を実施し、いじめの早期発見や未然防止につながった。                            | いじめアンケートが有効に活用できている。教師は目に見えないいじめを察知する力をつけてほしい。                                      | 日常の中で気になる場面について、その都度指導するだけでなく、思いやりの心をもって、相手を気遣えるように、心の教育を推進し未然防止に努める。             |
|           | ②不登校支援の取組み                       | 4           | 毎朝、児童支援担当と総務担当が欠席確認と電話連絡を行い、不登校傾向家庭についてはお迎えを行うなど積極的に動いている。サポートルーム支援員の対応もよい。 | 児童支援担当と総務担当が子供たちや保護者とながらもつながりをもっており、何かあったときに何でも言える関係ができている。                         | 今後も家庭との連絡を密にして対応していく。                                                             |
|           | ③教職員の業務改善                        | 3           | 帰りづらい雰囲気がなく、積極的に帰ることができるが、結局持ち帰りの仕事はある。                                     | 教職員の超過勤務の削減・効果的な有給休暇の取得に関する評価が一定以上あり、安心した。働き方を意識して、先生自身の健康を大切にしていきたい。               | 今後も、行事の精選やICT活用の授業作りなどで時間を生み出していく。エコデーには18時半までに退勤できるよう声かけをする。                     |
|           | ④保護者・地域への情報提供・発信（すぐるの活用、ホームページ等） | 4           | ペーパーレス化が進み、連絡が取りやすくなった。                                                     | 各学年の行事や学習活動がホームページで更新されていて楽しみに見ている。                                                 | 今後も、学校の取り組みや子供たちの様子など、学校の新鮮な情報をホームページなどを使って提供していく。                                |

【評点】 4：十分達成できた 3：おおむね達成できた 2：どちらかと言えば課題がある 1：課題がある